



**CUC**  
Chiba University of Commerce  
千葉商科大学

## 2021 年度募集案内

千葉商科大学大学院 &  
人を大切にする経営学会 共同開講

# 中小企業人本経営 (EMBA) プログラム 1 年コース (履修証明プログラム)

(人を大切にする経営大学院事業「経営人財塾」4期)

教室：千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス

■千葉商科大学

〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1

千葉商科大学 大学院・社会人教育センターオフィス

電話：047-373-9755 FAX：047-373-9790

URL：<https://www.cuc.ac.jp>

E-mail：[grad@cuc.ac.jp](mailto:grad@cuc.ac.jp)

■人を大切にする経営学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-15 瑞鳥ビル 2F 株式会社イマージョン内

「人を大切にする経営学会 EMBA プログラム」担当

電話：03-6261-4222 FAX：03-6261-4223



## ■中小企業人本経営（EMBA）プログラム開設趣旨■

千葉商科大学は、1928年、商業道徳の涵養を教育理念として、遠藤隆吉博士によって設立された巢鴨高等商業学校を前身としています。教育目標の具体的な人物像は「治道家」です。治道家とは、大局的な見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、倫理観の高い指導者です。そのために、物事の本質を見極める深い洞察力を養うとともに、高い倫理観を涵養することができるよう、「有用の学術＝実学」の教育に努めてきました。

今後、早まる時代の変化に対応するため、ますます高い見識や全体を見渡す能力が必要になり、それには幅広い教養が不可欠です。そして、あらためて「倫理」教育を強化し、内面の充実を図りたいと考えています。とりわけ、日本社会のモラルの源泉として新渡戸稲造のいう、仁に重きを置く「武士道精神」を、人を大切にする経営の具体事例をもとに理解・習得させるべく新たなプログラムを開設しました。

コロナ後の世界的な社会経済の大変動の中で、大きく求められていることは、地域分散型の社会構造への転換です。そのためには、日本の経済活動の中核であり原動力である個々の地域の中小企業が持続可能な形で発展するシステムの構築が求められます。中小企業は腕と信用で勝負しますが、人を大切にし、継続的な信用を得た企業は生き残れます。

本学では従来から学部及び大学院において、中小企業関連の教育研究を重点的に進めています。特に大学院では「中小企業診断士養成プログラム（経済産業省登録）」を設けると共に、「経営革新等支援機関（財務省、経済産業省認定）」として、創業支援も積極的に実施し、総合的に日本の中小企業の発展に寄与してまいりました。

このようなことから、本学の建学の理念である「高い倫理観の涵養」とまさに志が同じである「人を大切にする経営学会」と協働して、大学院に「中小企業人本経営（EMBA）プログラム1年コース」として履修証明プログラムを開設しました。コロナ後の新たな社会で活躍できる有為な人材を養成し、時代の要請に応える本プログラムに是非ご参加ください。

千葉商科大学  
学長 原科 幸彦

## ■開講にあたって■

企業経営の目的・使命は、関わる人々の幸せの追求・実現です。業績は大切ですが、それは、目的を追求・実現するための手段、あるいは結果に過ぎません。

ですから、手段や結果を、目的と勘違いした経営を進めると、人は業績実現のための手段になってしまいます。こうした経営が、社員をはじめとする関係者の信頼を得ることはできません。

過去、現在を問わず、消え去った企業や、好不況の度、業績が大きくアップダウンをする企業の大半は、実は、ここにこそ問題の本質があるのです。

事実、業績や勝ち負けではなく、関係する人々をトコトン大切にする経営を、ぶれず実践している企業の業績は、例外なく高くなっています。

また人をトコトン大切にする経営を愚直一途に実践している企業は、社員の働きがいやモチベーションも高いばかりか、企業内にお互い様の組織風土が醸成され、まるでそこは家族のような温もりが感じられます。

一方、業績や勝ち負けを過度に追求している企業の業績は、逆に常に不安定であるばかりか、社内にはギスギス感がはびこり、社員のモチベーションは低く、社員の離職率も高いといった特長があります。

しかしながら、業績や勝ち負けではなく「人を大切・幸せにする経営のあり方・進め方」について、理論と実務を織り交ぜながら、体系的に教え・学べる中小企業のための「人本経営大学院」が、存在していませんでした。

こうした中、人を大切にする経営学会では、社会の強い要請もあり、2018年度から学会単独で、2020年度からは、中小企業重視・実学重視・倫理観重視といった志を同じくする「千葉商科大学大学院」と共同し「中小企業人本経営（EMBA）プログラム1年コース」（履修証明プログラム）として、開講しています。

2021年度も奮ってご参加ください。

人を大切にする経営学会 会長  
中小企業人本経営（EMBA）プログラム長  
坂本 光司



## ■中小企業人本経営（EMBA）プログラム1年コース （履修証明プログラム）の特長■

- (1) 千葉商科大学と人を大切にする経営学会が共同し開講する全国初の試みです。
- (2) 大企業の経営学ではなく生きる世界の違う中小企業経営に特化した、また業績を高めるためではなく、かかわる人々の幸せを実現するための人本経営学を体系的に学ぶことができます。
- (3) 毎月1回、金曜日の午後（13時から17時10分）と、翌、土曜日の9時30分から17時までの連続して3回の講義を開催するので、集中して学ぶことができ、遠隔地からでも通学が可能です。
- (4) 教室は千葉商科大学丸の内サテライトキャンパスであり、東京駅丸の内南口から徒歩10分、有楽町駅から徒歩5分の場所で、交通利便性は最適です。
- (5) 講義は評価の高い、著名な現役経営者によるリレー方式の「リレー実践経営学」と研究者や弁護士・公認会計士・経営コンサルタント等によるリレー方式での「リレー中小企業経営論」、そしてプログラム長が、年間通して担当する「中小企業経営事例研究&ゼミ」や、現地に出向き集中的にいい中小企業研究をする「現地企業研究」等で、理論面と実務面から、正しい人本経営学を、広くかつ深く学ぶことができます。
- (6) 講義やゼミ時間中は、複数の千葉商科大学大学院 客員教授及び准教授をコーディネーターとして配置し、受講生の学習と研究が支援されます。
- (7) 「中小企業経営事例研究&ゼミ」は毎回、プログラム長から30社から50社の、国内外の人を大切にしている企業が紹介され、それら企業をグループで研究し、次回の講義やゼミ内で発表や、ディスカッション、さらには個人研究発表をします。このほか、現地に出かけての企業研究も多数行います。
- (8) 年間に研究する企業は、約30回の講義や夏期合宿（原則1泊2日）さらには有志で現地研究をする企業、教授に同行する現地企業研究等を含めると、その数は600社以上になります。
- (9) 8月のプログラムは教授と受講生全員が参加しての原則1泊2日（希望者はそれ以上）の現地企業研究ですが、訪問企業は5社から10社程度になります。
- (10) 年度末の3月には、1年間の学びの成果を「プロジェクト研究発表」として、教授や他の受講生の前でプレゼンテーションを行っていただきます。
- (11) プログラムでは、個人研究のほか、全受講生が参加した全体研究テーマを1年かけ全員で取り組み、その成果を本として出版、またはレポートとしてまとめます。
- (12) 優秀な成績を収めた者には、千葉商科大学学長と人を大切にする経営学会長連名で、「中小企業人本経営（EMBA）プログラム修了証」を授与します。また千葉商科大学からは、履修証明書が交付されます。
- (13) プログラム修了後はOB・OG会において、継続して学べ、交流するチャンスが用意されています。

## ■本プログラム長■

本プログラム長は、千葉商科大学大学院商学研究科 客員教授（法政大学大学院元教授）であり、人を大切にする経営学会の会長である坂本光司が務めます。

## ■開講スケジュール・講師等「別紙」■

- (1) 開講期間 2021年度は、2021年4月から2022年3月
- (2) 開講日時 「別添カリキュラム」 毎月2日間  
原則として第2金曜日の午後13:00-17:10（講義）と翌土曜日9:30-17:00（演習と講義）

## ■教室■

千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス

東京都千代田区丸の内3-1-1「国際ビル1階」（お堀側、東京会館と帝国劇場の間）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、講義をオンラインで実施することがあります。



## ■募集人員■

30名程度（最少催行人数20名）

## ■出願資格■

以下の（１）（２）の両方の要件を満たす者

- （１）大学を卒業した者または大学を卒業した者と同等以上の学識・社会経験があると認められる者
- （２）以下に該当する者
  - ①人を大切にする経営を志向する企業や団体の経営者・後継者・幹部社員・中堅社員
  - ②将来、人を大切にする企業の起業を考えている国内外の起業家
  - ③人を大切にする経営を企業に導入・普及させたい専門家（弁護士、司法書士、弁理士、公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、各種経営コンサルタント、医師・保健師・福祉士等医療や福祉機関関係者、産業支援機関担当者等）
  - ④その他、本プログラムの趣旨に賛同する関係者

## ■年間受講料■

- （１）1名当たり70万円（税別） ※人を大切にする経営学会員は60万円（税別）  
（夏の合宿経費、個人的な研究・視察経費、懇親会費等は含みません）
- （２）受験料や入学金は必要ありません
- （３）受講料は面接試験結果を受領後、1カ月以内に指定の口座に振り込みください。

## ■受講希望者・選考日等■

- （１）受講希望者は指定日までに以下のURLにアクセスし、WEBの出願フォームより所定の項目を入力し、出願してください。

[https://www.cuc.ac.jp/social\\_contribution/lifelong/emba/index.html](https://www.cuc.ac.jp/social_contribution/lifelong/emba/index.html)

千葉商科大学 EMBA

🔍 検索

- （２）選考方法

原則として、提出書類の審査および面接※を行います。

面接時間は30分程度、選考結果は、面接後1週間以内に連絡します。

※大学卒・大学院卒以外の方は、学識の確認のため小論文または口述試験を課す場合があります。

	選考日	出願期間
第1回	2020年11月7日（土）	2020年10月24日（土） ～10月31日（土）
第2回	2020年12月19日（土）	2020年12月5日（土） ～12月12日（土）
第3回	2021年2月5日（金）	2021年1月22日（金） ～1月29日（金）
AO試験	2020年10月1日（木）～2021年2月1日（月）	

※AO試験は、受講希望者が上記選考日の日程調整が困難の場合、大学の指定する別の日（月に2回程度）に個別に行います。

※AO試験の場合、必要書類はAO試験日の1週間前に提出してください。

※AO試験を希望する場合は、事前に千葉商科大学大学院・社会人教育センターオフィスへご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、一般試験・AO試験をオンラインにて実施する場合があります。